

▶作/エマニュエル・ダルレ
▶訳/石井恵
▶出演/龍昇

火曜日は スーパーへ



ひとり語り二作品一挙上演

「鷗座」極私的演劇宣言2019



HER VOICE

▶演出・美術/佐藤信
▶出演/竹屋啓子 大月秀幸

2019.5.3(木)▶▶6月(月) @ 早稲田小劇場どらま館 (東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩5分)



佐藤信(劇作家・演出家)が主宰する個人劇団「鴉座」は、演劇におけるテキストの復権を掲げたモノドラマ企画を立ち上げ、「極私的演劇宣言」というシリーズ名のもとに、毎年、海外公演をふくめた上演を継続しています。

2019年は、そのレパートリー二作品、フランス現代演劇の俊英エマニエル・ダルレのモノドラマ『火曜日はスーパーへ』(2018年初演)と20世紀演劇の巨匠サミュエル・ベケット作品に想を得た『HER VOICE』(2013年初演)の一挙上演を企画しました。

風薫る五月、早稲田の杜の小劇場でお待ちしています。

火曜日はスーパーへ

▶出演 / 龍昇

▶著作権代理 / (株)フランス著作権事務所

お前は目立ちすぎる男だ みんながお前のことを見る

違う わたしは目立ちすぎる女 ジャン=ピエールじゃない 私のところはいつだってマリ=ピエール

他人の目を意識せざるを得ない環境を生きるマリ=ピエール(旧名ジャン=ピエール)のモノログ。俳優は観客に語りかけるでもなく、他人の言葉を写實的に演じるわけでもなく、極めて抽象性の高い発語環境に置かれている。極めて難しい芝居である。演じ手がこの課題に敢然と挑戦していることが好ましい。(石澤秀二)



龍昇 (りゅう・のぼる)

演劇団(現・流山児★事務所)に在団後、1985年龍昇企画設立。俳優兼プロデューサーとして年1~2本のペースで着実に作品を発表し続ける他、各劇団やユニット作品の出演など、舞台俳優としての独自の歩みをつけている。「アジアミーツアジア」「フィジカルシアターフェスティバル」等、各フェスティバルの実行委員の他、「Space早稲田フェスティバル」実行委委員長を務め若手劇団の育成にも力を注ぐ。2017年佐藤信の「若葉町ウォーフ」設立に参画、理事として運営に参加している。

「鴉座」極私的演劇宣言2019

ひとり語り二作品一挙上演

2019.5.3(木)▶6(月) @ 早稲田小劇場どらま館

サミュエル・ベケットの『幸せな日々』の膨大なせりふの合間に書き込まれた「ト書き」の忠実な再現からはじまった、舞踏家竹屋啓子のライフワーク。演劇よりも演劇。ダンスよりもダンス。あらたに、共演者に大月秀幸を迎えた新バージョン(2018年初演)

ベケットを基礎に力強く築き上げられた素晴らしいオリジナル作品『HER VOICE』は、演劇の巨匠へのオマージュである。(Siofra Ni Shluaghadháin / 2017年ダブリン演劇祭上演評)



竹屋啓子 (たけや・けいこ)

1970年代の中盤から、米国マーサグラハムカンパニーのメンバーとして活動。帰国後、作品創造を主眼においた自身のカンパニー「ダンス01」を設立。10年間にわたった「ダンス東風」プロジェクトをはじめ近隣アジア諸国との共同作品、ヨーロッパ、アジア諸国への海外公演、日本舞踊、舞踏との共演など、積極的な活動を展開する。近年は、独自の「身体調整理論」に基づく教育活動と共に、領域にとらわれない自由な身体表現の可能性を求めての創作活動に取り組む。



大月秀幸 (おおつき・ひでゆき)

長年にわたってオンシアター自由劇場の一員として活躍。劇団解散後は、フリーの俳優として、音楽劇やオペラの助演、商業演劇、近年はさらに映像へと活動の場をひろげる。数年前から、かつての劇団仲間の大森博史、真那胡敬二と共に演劇ユニット「grass919」を立ち上げ、1年1回のペースで下北沢を中心に小劇場公演を行っている。

▶出演 / 竹屋啓子 大月秀幸

HER VOICE

演出・美術 / 佐藤信 映像(火曜日はスーパーへ) / 浜嶋将裕 振付(HER VOICE) / 竹屋啓子 照明 / 中田隆則 高円教美 音響 / 鳥猛 演出協力 / ●●●● 制作協力 / ●●●●

舞台監督 / 岡島哲也 チラシデザイン / 太田裕介 制作 / 池田恵巳 主催 / 鴉座 共催 / 早稲田小劇場どらま館



新緑の早稲田の森で、二つのひとり語りと過ごすGW 近隣カフェでひと休みのチケット付き!

2019年5月	14:30	18:00
3日(金)(憲法記念日)	火	H
4日(土)(みどりの日)	H	火
5日(日)(こどもの日)	火	H
6日(月)(振替休日)	H	火

※開場は開演の30分前です。

チケット

前売り 4,000円(2作品+ドリンクチケット) 3,000円(1作品)

ユース割引 3,000円(2作品+ドリンクチケット) 2,000円(1作品)

当日は500円増しです。

※2作品は同日でも別日でもお選びいただけます。

問合せ・予約

チケット予約サイト

HP <https://kamomeza2019.amebaownd.com/> ▶

MAIL DanceHexagon@gmail.com

TEL 045-315-6025(若葉町ウォーフ)



アクセス

早稲田小劇場どらま館

〒169-0071

東京都新宿区戸塚町1-101

電車

【JR山手線・西武新宿線】

「高田馬場」駅から徒歩20分

【メトロ東西線】

「早稲田」駅から徒歩5分

【メトロ副都心線】

「西早稲田」駅から徒歩15分

【都電荒川線】

「早稲田」駅から徒歩5分

バス

【都営バス】

「馬場下町」バス停から徒歩5分

※演劇博物館は2019年9月27日まで休館中です。